

病防第16号の4
平成28年7月29日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

平成28年度 病虫害発生予察情報（美濃地域） 8月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 防除指導係		
係 長	桑 原	担 当	佐 藤
TEL	058-239-3161（直通）		
FAX	058-234-0767		

病害虫発生予察情報

平成28年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 8月予報

【水稻】

斑点米カメムシ類 * 病害虫発生予察注意報第1号 (H28.7.14付け) 発表

7月中旬に実施した斑点米カメムシ類一斉調査では、全域の畦畔で本虫が確認され、水田内でイネ科雑草が出穂している地点では本田内への侵入が確認されました。

水稻の出穂直前および出穂後の畦畔除草は、本虫を水田内に追い込む恐れがあるため、出穂10日前までに実施するとともに、水田内のヒエ類等は、出穂前に確実に除去してください。

【大豆・野菜類】

ハスモンヨトウ

各地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年より多く推移しています。今後、気温上昇に伴い、発生量は増加すると考えられます。ほ場内の発生に十分注意し、若齢幼虫による食害が確認されたら、防除を実施してください。

【野菜類】

タバコガ類

中濃地域及び東濃地域に設置したフェロモントラップへの誘殺数は平年より多く推移しており、ナスやトマトでは幼虫による食害が確認されています。本虫は若齢幼虫期の防除が最も効果が高いため、ほ場内をよく確認し、若齢幼虫が認められたら直ちに防除を実施してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期(8月)

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬		
水 稻	生育(岐阜市)	並						<出穂>	・ハツシモ(普通期)	
	穂いもち	やや多	初発生(出穂以降)						・穂いもち 穂ばらみ期~穂ぞろい期に防除を実施する。	
	紋枯病	並	<最盛期>						・紋枯病 発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	ニカメイガ	少	<第1世代成虫>						・ニカメイガ 8月上旬に株当たりには幼虫が5頭以上いる場合は防除を実施する。	
	セジロウンカ	やや多	<幼虫最盛期>			<成虫最盛期>			・セジロウンカ 発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	トビイロウンカ	少							・トビイロウンカ 8月上旬に株当たりには幼虫が5頭以上いる場合は防除を実施する。	
	ツマグロヨコバイ	少	<幼虫最盛期>						・ツマグロヨコバイ 発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	斑点米カメムシ類	多	本田への侵入(出穂以降)						・斑点米カメムシ類 ジノテフラン粒剤による防除は出穂後7~10日後に散布するのが効果的である。	
	防除適期		穂いもち・紋枯病:穂ばらみ~穂ぞろい期に同時防除を実施する。 斑点米カメムシ類:穂ぞろい期および乳~糊熟期に防除を実施する。 ▲ニカメイガ							
大豆	ハスモンヨトウ	やや多	<発生量増加>						・ハスモンヨトウ 発生に応じて防除を実施する。	
	防除適期									
カ キ	ハマキムシ類	岐阜・西濃 中濃	やや多 少	<第3世代幼虫>		<第3世代幼虫>				・ハマキムシ類 幼虫発生初期の防除を徹底する。 ・カキハマキムシ 第1世代成虫 発蛾最盛期 やや早7/16(平年7/21)
	カキノヘタムシガ	多								
	防除適期		▲ハマキムシ類			▲ハマキムシ類				
モ モ	灰星病	少	<収穫果実での発生>						・灰星病 本病は収穫後の市場病害として問題となるため、収穫前に予防防除を必ず実施する。	
	ナシヒメシンクイ	やや多	<第4世代幼虫>							
	防除適期									
果 樹	カメムシ類	やや多	<主に新世代成虫>						・果樹カメムシ類 飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。	
	防除適期									
茶	生育(池田町)	早							・やぶきた:池田試験地	
	ハマキムシ類	多	<第3世代幼虫>						二番茶摘採期 早6/17(平年6/25)	
	防除適期		▲ハマキムシ類						・ハマキムシ類 幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	生育(白川町)	早								
	ハマキムシ類	多	<第3世代幼虫>							
	防除適期		▲ハマキムシ類							

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
野菜・花き類	灰色かび病	やや多							・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達）。 ・ 灰色かび病 花ガラや葉先枯れは感染源となるため取り除く。 ・ ハコガ 類 幼虫は新梢の隙間や花蕾内に生息するため、十分量の薬液を丁寧に散布する。 ・ コナジラミ 類 冬春トマトでは黄化葉巻病ウイルスへの感染防止のため、育苗時のハコナジラミ対策を徹底する。
	ハスモンヨトウ	やや多			<発生量増加				
	タバコガ類	やや多			<発生量増加				
	コナジラミ類	やや少							
	アザミウマ類	やや少							
	ハダニ類	やや少							
	防除適期								

注1) ▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

いもち病

BLASTAM(アメダスを利用した葉いもち発生予測システム)では、6月中旬より、感染好適条件が周期的にあらわれており、7月以降も感染好適条件および準感染好適条件が頻出しています。一部地域では発病が認められ、ずり込み症状がみられるほ場もあります。向こう一カ月の気象予報では、平年と比べて晴れの日が少ないと予想され、今後も本病に感染しやすい条件が続くと考えられます。発病が認められた場合は、早急に防除を実施してください。

表1 2016年7月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
7/3	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
7/4	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	●	-	-	-
7/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-
7/6	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
7/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/10	-	-	-	●	-	-	-	●	●	-	●	▲	●	●
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/13	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/14	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、前 5 日間の平均気温は 20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、前 5 日間の平均気温は 25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間 10 時間以上だが、湿潤時間の平均気温は 15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の1平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間（おおよそ5～10日）を経て発病します。

6月～8月は

「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努めましょう。農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物だけでなく、住宅地等へも飛散がないよう、十分に配慮しましょう。

東海地方1カ月予報（名古屋地方気象台 7月28日発表）

向こう1カ月の気温は平年並または高く、降水量は平年並、日照時間は平年並または少ない予想です。

平年に比べ、晴れの日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_11901.html

〒501-1152 岐阜市又丸729 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767